

適性検査Ⅰ 出題のねらい（平成21年2月1日実施）

問1 ユニバーサルデザインを取り入れた身の回りの物や場所を題材として、主に社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 水飲み場の写真をもとに、ユニバーサルデザインを取り入れた工夫を指摘できるかをみる。
- (2) 非常口を例に、絵による表示(ピクトグラム)と漢字による表示とを比較し、ユニバーサルデザインの視点から、ピクトグラムの意義を考えることができるかをみる。
- (3) ユニバーサルデザインの原則に基づいて、身の回りの物や場所から、課題を見つけ出し、その改善策を考えることができるかをみる。

問2 最近20年間の神奈川県の人人口の変化を題材として、主に表現コミュニケーション力と科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 「神奈川県の人人口の変化」を示した統計表をもとに、必要な情報を読み取り、具体的な数値を示して説明することができるかをみる。
- (2) ア、イ 統計表に示された数値から求めた県全体で増加した人口の平均と、市町村別の統計地図に示された、異なる視点による情報とを関連づけて考えることができるかをみる。

問3 公園に落ちているペットボトル、かん、びんを調べた結果を題材として、主に表現コミュニケーション力と科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 複数の資料に示された調査結果をもとに、調査結果の内容を比較することによって、特色となる相違点を明らかにすることができるかをみる。
- (2) 資料に示された情報を円グラフに表すことによって、資料を視覚的に整理することができるかをみる。
- (3) ア 資料と会話文に示された情報をもとに、調査結果を多面的に分析し、異なる視点からとらえることができるかをみる。
イ、ウ ゴミの投棄を減らし、リサイクルやリユースを進めるためのデポジット制度について、消費者の立場で肯定的な意見や問題点を考えることができるかをみる。

問4 谷川俊太郎さんの詩「いちがつ にがつ さんがつ…」を題材として、主に表現コミュニケーション力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 詩の表現の中から、言葉の響きやリズムを感じさせる技法を読み取ることができるかをみる。
- (2) 読み取った詩の技法を活用して、自分の日常生活の場面を作品にすることができるかをみる。

適性検査Ⅱ 出題のねらい（平成21年2月1日実施）

問1 子どものハムスターの命の誕生について考える話を題材として、主に表現コミュニケーション力と科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) ア 会話の流れから、登場人物の考えたことを読み取ることができるかをみる。
- (2) イ, ウ 本文の内容をもとに、数量の関係をとらえて処理することができるかをみる。
- (3) 命のつながりについて考えるきっかけになった友人の言葉を、本文中から読み取ることができるかをみる。

問2 公園で池の回りを歩いたことや葉を使って問題を考えたことを題材として、主に表現コミュニケーション力と科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 資料と会話文に示された情報をもとに、筋道を立てて考え、具体的な数値を示して説明することができるかをみる。
- (2) ア, イ 資料に示された情報をもとに、規則性を見だし、活用して表現することができるかをみる。

問3 神奈川県の伝統的工芸品を題材として、主に表現コミュニケーション力と科学・論理的思考力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) ア 資料に示された写真と説明文をもとに、3つの伝統的工芸品の共通点を明らかにすることができるかをみる。
- (2) イ, ウ 特徴をまとめた表を完成させるために、グラフを読み取り、数値を処理することができるかをみる。
- (3) 箱根寄木細工を例に、菱形による正六角形の敷き詰めができるかをみる。

問4 町の中を歩いて見かけたものなどを題材として、主に科学・論理的思考力、社会生活実践力の基礎的な力をみることをねらいとした。

- (1) 異なる視点による情報を結びつけて、論理的に考えることができるかをみる。
- (2) ア, イ 資料に示された情報をもとに、共通点や相違点を見つけ出し、仲間分け(分類)をすることができるかをみる。
- (3) 資料に示された情報をもとに、交通のルールやマナーを守るという視点から、課題を見つけ出すことができるかをみる。

平成21年度 神奈川県立中等教育学校入学者決定検査

作文による検査 出題のねらい（平成21年2月1日実施）

中等教育学校での今後6年間で学ぼうとする意欲や目的意識と、それを文章で適切に表現することのできる基礎的な力をみることをねらいとした。

自己肯定感につながる「自分自身の好きなところ」や「自信をもっているところ」を生かして、中等教育学校で具体的に組み組んでいきたいことを、わかりやすく表現することができるかをみる。

グループ活動による検査 出題のねらい（平成21年2月7日実施）

与えられた課題について、自分の意見をまとめた後、グループでの話し合いや作業を行い、活動にどのようにかかわったかの振り返りをとおして、集団の中での人間関係構築力の基礎的な力をみることをねらいとした。

課題 1 小学校に入学してきた1年生に対して、「学校案内」を行うため、学校案内図をもとに、説明する必要がある場所を決定し、具体的な説明内容を話し合う。

課題 2 小学校に幼稚園児を招待して、「昔遊び集会」を行うため、園児と一緒に安全に楽しく遊べる昔遊びを決定し、具体的な遊び方やルールを話し合う。

課題 3 小学校の生活の中で、「もったいない」と感じたことを減らすため、朝会で全校児童に呼びかけたい場面を決定し、具体的な呼びかけの言葉を話し合う。

（参考）

あらかじめ指定した時間に集合した受検者を、男女別に7～8人のグループに分け、平塚中等教育学校においては4回、相模原中等教育学校においては6回の検査を実施した。

検査	集合時間	検査時間	検査課題
第1回	8:30	9:10～ 9:55	課題 1
第2回	9:45	10:25～11:10	
第3回	11:45	12:25～13:10	課題 2
第4回	13:00	13:40～14:25	
第5回	14:20	15:00～15:45	課題 3
第6回	15:35	16:15～17:00	